

事務事業名		空き家片づけ事業		所属部	政策企画部	所属課	うんなん暮らし推進課	
総合計画体系	政策名	(I)みんなで築くまち《協働・行政経営》		所属G	うんなん暮らし推進グループ	課長名	奥田 清	
	施策名	(02)移住・交流の推進		担当者名	安部真美	電話番号	0854-40-1014	
	目的:対象	市外の人・市民	意図	雲南市を好きになり、移住・定住してもらう。				
	基本事業名	(007)定住に向けた環境整備		予算科目	会計 款 大事業 大事業名	0 1 1 0 0 3 定住対策促進事業		
目的:対象	市外の人・市民	意図	良好な環境で暮らしてもらう。				中事業 中事業名	0 5 6 5 0 1 定住対策促進事業

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (27年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
空き家バンク制度の登録促進を図り、UIターン者などの定住を目的として空き家の片づけを行う場合、その経費の一部を助成する。 【補助率】2分の1以内、【補助上限額】5万円、【交付対象者】①空き家所有者、②空き家に定住するUIターン者、③UIターン者を定住させるために空き家を所有(賃貸含む)するNPO及び地域自主組織等

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	27年度実績(27年度に行った主な活動)		28年度計画(28年度に計画する主な活動)			
		補助金交付数 16件(入居者数20人)		補助金交付件数(見込み) 20件			
	② 活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)	
	ア 補助金交付件数	件			16	20	
	イ						
	ウ						
	エ						

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	空き家 UIターン者	ア 空き家片付け件数	件			16	20
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)	
空き家を住まいとして活用しやすくする。	ア 空き家バンク新規登録件数	件			41	50	
	イ 入居者数	人			20	35	
	ウ						

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (27年度決算)	② コストの推移	単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(計画)	
補助金 681千円	財源内訳	国庫支出金	千円			681	
		県支出金	千円			500	
		地方債	千円				
		その他	千円				500
		一般財源	千円				
	事業費計(A)	千円			681	1,000	
	人件費	正規職員従事人数	人			1	
延べ業務時間		時間			159		
人件費計(B)		千円			622		
トータルコスト(A)+(B)	千円				1,303		

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
定住希望者の空き家ニーズは高く、相談件数も増加している。空き家バンクの登録促進が必要。島根県においても、平成28年度から空き家の残置物撤去に要する経費への補助制度を創設予定である。	空き家ニーズ、相談件数の増加から空き家バンクの登録促進を図るため、平成27年度より事業を実施した。全件、所有者からの申請であったため、対象者の見直しを行った。	少額補助金ではあるが、空き家を活用したい利用者から好評を得ている。

事務事業名	空き家片づけ事業	所属部	政策企画部	所属課	うんなん暮らし推進課
-------	----------	-----	-------	-----	------------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はあるか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	補助対象者、周知先等見直すことで申請件数を増やすことができる。
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由
<input type="checkbox"/> 影響無			
<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	現状他に事業がない。	
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	第2次雲南市総合計画において、人口の社会増を最優先の課題として取り組む。大胆な施策を進めることにより成果の向上を目指すため、事業費の削減は難しい。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	補助金の申請事務、補助金交付事務など必要最小限の業務で行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	補助率を2分の1以内(上限5万円)とし、受益者にも応分の負担を求めている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
事業周知を積極的に行い、実施件数を増やしていく。 補助対象内容や補助金額について他自治体との比較や検証を重ね、補助制度を引き続き検討する。			空き家の有効活用につながっている。 補助対象内容や補助金額について他自治体との比較や検証を重ね、補助制度を引き続き検討する。

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		●																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				